

SSTシリーズ

ソーシャルスキルトレーニング

イラストやゲームを使って、楽しく学べるSST。

ソーシャルスキルトレーニング（SST）は、子どもの発達段階に応じたトレーニングと、継続的な活動が不可欠といわれています。

SSTシリーズは、子どもの年齢や、必要とするスキルに応じて、楽しくトレーニングできるよう工夫されています。

「SSTカード」では、まず自分を大切にセルフエ

スティームから段階的にスタートし、最終的には、より良いグループ作りを目指します。「SSTボードゲーム」では、子ども達が遊びながら継続的なトレーニングを出来るように作られています。

まずは、子どもにどのスキルが必要なのかを先生や保護者の方が見立て、その段階にあったツールを使用すると、より効果的です。

SSTカード

日常よく見かける場面を描いたカードを使い、ソーシャルスキルの5つの項目を段階的に学んでいきます。それぞれのテーマごとに10枚の場面カードが入っていますので、場面別に使用することが可能です。先生や保護者の方が、これを紙芝居のように子どもに見せ、「これはどんな場面かな？」と問いかけてみてください。子ども達からは様々な意見が出るでしょう。これらを受け入れた上で、場面カードが示しているテーマを子どもに伝えます。裏面にはテーマの詳細な説明が書いてありますので、子ども達はもちろんの事、指導者側もソーシャルスキルの基本を学ぶ事ができます。



¥8,400（税込）

参加人数：2名～6名位（個別での使用も可）
A4カード5枚・説明書（使用例付）
寸法/カード：210×297mm
外箱：240×328×35mm

監修：本田 恵子（早稲田大学教育学部教授）
著者：本田 恵子・鈴木 真理（臨床心理士）

改訂特別支援学校学習指導要領
「人間関係の形成」に対応



使い方

場面カードを子どもに掲示し、「何が描かれているか」「どんな気持ちか」「この前に何があったか」「この後どうなるだろう」などについて、様々な意見を拾います。この時、育てたいソーシャルスキルにターゲットをあてて、意見を引き出していきます。広い教室の場合は、拡大機等を使用すると集中力が高まります。皆が意見を出し終わったところで、場面カードの趣旨を説明し、場面に関する活動を展開していきます。場面カードの裏面に基づいて場面カードの内容を伝え、深めていきます。

活用場面

●グループでの特別支援教育や道徳、総合学習での友達作りの時間に。●スクールカウンセリングや特別支援における個別指導の際のコミュニケーションに。

SSTカード
5つのテーマ

セルフエスティーム
ストレスマネジメント
友達の作り方
対立の解消
上手なグループ活動の進め方

